南あわじ市 平成 19 年度 事務事業評価シート □ 新規 ☑ 継続 (事業 委託 補助用)

<u> 基本</u>	<u>事項</u>		`			,		整理	番号	16	4
事 業 名	隹亼	品为修	猫助全		予	会計	一般会				
7 * 1	集会所改修補助金				算	款	総務費	・2款			
担当部課名	総務	部	総務課		科	項	総務管	理費·1	項		
電話	0799	9 - 43	- 5001		目	目	自治振	興費·1	2目		
事業分類	→ 義務的(法定)事務 ✓ 任意的(自治)事務			法的根拠 南あわじ市集				会所等	建設事	業補助金	金交付
争未刀积				(法令、条例、要綱等) 要綱							
		まち	5づくりの柱	人づくり知恵	まあふれ	郷土	愛が満	ちるまち	うづくり_	_	
南あわじ市総		まち	づくりの目標	大好きふるさと南あわじ【郷土愛】							
施策体系	Ã.	施策目標		地域コミュニティや世代間のふれあいを通じ、互いの人権を尊重							
			心來日信	し、感謝・思いやりのある人を育てる							
該当する事業について「」を選択			施策的事業		業	务委託		負担	金補助		

Ⅱ Plan (計画、事業内容、事業背景)

Ш	Plan	(訂世、事業内谷、事業育意)	
		対 象 (誰を・どのような状況の人に)	
		集落の公会堂	対象人数(人)
			F2 274
			53,374
	le	意図(どのような状態になってもらいたいのか、事業を実施する「本来の目的]」を記入)
		集落等が管理する集会所を補助することで、住民相互の交流と連携や地域づくり	の推進を図
	的	گ و	
		(何をどのような手段・内容・手順により目的を達成させるのか)	
		集会所建設等の補助事業を希望する団体は、総務部総務課へ事業内容のわか	る事業計画書
事		を提出する。総務課は、受理した事業計画書を受付順整理簿に記載し、その受付	
	実	団体に補助金交付申請書を提出してもらい交付決定順に事業を実施する。又、補	
業	施	のとおり	の至一は八
	内	1.事業費100万円以上の新築・増築は、補助率(補助対象金額の1/2以内)、限度	額1千万円。
概	容	2.事業費100万円以上の改修は、補助率(実施事業費の1/3以内)、限度額1千万	
		3.下水道接続に係る工事は、(事業費100万円未満でも補助対象)・補助率(実施	
要		以内)、限度額1千万円。	
		(じっしきかね) 神暦 再付にし マネギがウをされてにな もみ ルッウンは	の動力もは
		(どのような現状・課題・要望によって事業が実施されるに至ったか、他の自治体	,
		新築(改築等)については、震災後に復興基金の補助により(緑2・西淡22・三原1	
		件実施しており、今後は改修(修繕等)が主であり、特に下水道の加入促進上、その表現を対象としている。	り 経貨に ノい
	背	ての支援を対象としている。 補助金の交付を受けた団体は、地域コミュニティ活動を広く推進し、当該集会所で	5字明の担と
	-	- 補助金の交付を支げた団体は、地域コミュニティ店動を広く推進し、当該集会所でして有効利用を図る。	と夫成の場と
	景	して有別利用で図る。	
	事業	美実施主体 □ 市直営 ☑ 民間·その他 (単位自治会)
	Į	■業期間 □ 平成 年度 ~ 平成 年度 ▽	設定なし
合		(合併前においての事業実施団体と合併時における事務調整経緯)	
併協	V	旧緑町 ☑ 旧西淡町 ☑ 旧三原町 ☑ 旧南淡町 □ 旧広域事務組合 □	新市から
協	合併	協議会での事務調整なし。	371-1-10-2
議			
事			
務			
務調整内容			
全			
少			

Ⅲ Do(事業活動・成果、投入資源・コスト)

	<u> </u>	(FA			『 源・コス		1 ‡	旨標単位		
「実施内容」に より得られる			指標名	標名 年間		件数]	<u>指標单位</u> 件数		
			指標説明 (指標算出方法等)		事業実施件数					
活動	か結果指	台煙			平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度		
743		H 1W	目標値		9	7	19	15		
(ア:	クトプッ	y	実績値建成度	(0/)	7 77.8	19 271.4	15 78.9			
			<u></u> 建	(%)	11.0	27 1.4	76.9	-		
			目標値設定 の考え方	前年	度の実施件数					
			指標名 補助		事業要望団体数	र्धाः	扌	指標単位		
			1日 1赤 1口	THI DJ.	了未 女主凶 件 9			件数		
	アウトプットにより 達成される		指標説明 (指標算出方法等)	年間の補助事業要望団体数						
	りに対				平成17年度	平成18年度		平成20年度		
事業	の成果	指標	目標値		7	7	19	15		
(ア	ウトカ	<u>ل</u>)	実績値建成度	(%)	7 100.0	19 271.4	15 78.9	_		
	<i>7</i> 1 73		建 成反	(%0)	100.0	21 1.4	70.9	-		
			目標値設定 の考え方							
					平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度		
			直接事業費	(千円)	2,485	14,498	11,000	8,000		
			集会所改修等補助金		2,485	14,498	11,000	8,000		
資										
源			財 源	(千円)						
配分			国							
7,	県 ************************************									
			起債その他							
インプ					2,485	14,498	11,000	8,000		
プ		人件	·費(正規職員)[B]	(千円)	215	568	572	572		
79			平均人件費(1日当り)		30.7	29.9	30.1	30.1		
~			業量1(事業に要した日		7	19	19	19		
			業量2(事業に要した人	.数)	1	1	1	1		
	[[間経費([A]+[B]) 会人数1人当り経費	(工田)	2,700 0.1	15,066	11,572	8,572		
	受益者		スクダー人ヨリ経貨 5,200)1人当り経費	(千円) (千円)	0.1	0.3 2.9	0.2 2.2	0.2 1.6		
	又皿片	1/\XX (0,200 / 1八コッ社具	(]	0.0	2.9	2.2	1.0		
	経費に 補足									

Ⅳ Check (事業の自己評価・一次評価)

<u> V</u>	<u>Check(事業</u>	ミシロロ部1	ш•—	<u>·次評価)</u>			
			単位	平成17年度			平成20年度
	活動結果指標		%	77.8	271.4	78.9	-
	(アウトプットの達成	度分析、問題点	・課題な	:どを記入。)			_
達	19年度は、要	望のあった全団	体が要	望どおり事業で	を実施している	るので、自己評	呼価を 5 己
成度	4とする。						
度							
							→ 価
							_
							4
			114 /A	亚代 1 7 年 年	亚代10年度	一页代10年度	
	光田长振口 :	描法代在	単位	平成17年度	平成18年度		平成20年度
	成果指標目		%	100.0	271.4	78.9	-
	成果向.		<u>%</u>		171.4		-
有	(事業実施による目						<u> </u>
有効性	19年度以降は、	、ト水迫の供用	開始地	域が、増える(りで、事業実別	他安望件数も増	
桦	る。						点評
							し 価
							- 1
							5
							3
			単位	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
	活動実績1単位	位当り経費	千円	385.7	793.0	771.5	-
	効率性増	曾減率	%	-	105.6	2.7	-
	(効率性・コストの分		摂などを	記入。)			
効率					載は大変困難で	であると思われ	rる。 <mark>う</mark> 自
率	事業実施要望件数が増えていく傾向なので、経費節減は大変困難であると思われる。						
性							点評
							→ 価
							4
	公共性の喜併			т П	Æ.		4
	公共性の高低 (公共性 市民	<mark>│ </mark>	 	<mark>中 ┃ □</mark> 問題占・課題な	<u>低</u> どを記入)		4
	(公共性、市民二一.	ズ、緊急性などを	を分析、	問題点・課題な	どを記入。)	ていく必要性が	
必	(公共性、市民ニー、 下水道の加入推	ズ、緊急性などを	を分析、	問題点・課題な	どを記入。)	ていく必要性か	があ (5 己)
	(公共性、市民二一.	ズ、緊急性などを	を分析、	問題点・課題な	どを記入。)	こいく必要性か	があ (うご評
必要性	(公共性、市民ニー、 下水道の加入推	ズ、緊急性などを	を分析、	問題点・課題な	どを記入。)	こいく必要性か	があ (5 己)
必要性	(公共性、市民ニー、 下水道の加入推	ズ、緊急性などを	を分析、	問題点・課題な	どを記入。)	ていく必要性か	があ (うご評
必要性	(公共性、市民ニー、 下水道の加入推	ズ、緊急性などを	を分析、	問題点・課題な	どを記入。)	ていく必要性か	があ (うご評
- 必 要 性	(公共性、市民ニー、 下水道の加入推 る。	ズ、緊急性などで 進上、まず公会	を分析、「 注堂から	問題点・課題な	どを記入。)	こいく必要性か	があ (5 点) (1 元) (
	(公共性、市民ニー、 下水道の加入推 る。 自己評価	ズ、緊急性などで 進上、まず公会 をふまえた現状	を分析、「 学堂から 分析	問題点・課題な 下水道の接続]	どを記入。)	こいく必要性か	があ (5 点) (1 元) (
	(公共性、市民ニー、 下水道の加入推 る。 自己評価 住民相互の交流	ズ、緊急性などで 進上、まず公会 進上、まず公会 をかまえた現状 と連帯を図り、	を分析、「 学堂から 分析 高齢者、	問題点・課題な下水道の接続」	どを記入。) □事を実施して	こいく必要性が	があ (5 点) (1 元) (
	(公共性、市民ニー、 下水道の加入推 る。 自己評価 住民相互の交流 者等が安心して暮	ズ、緊急性などで 進上、まず公会 をふまえた現状 と連帯を図り、 らせる地域づく	を分析、「 学から 分析 高齢者 りを推	問題点・課題な下水道の接続工	どを記入。)	こいく必要性か	があ (5 点) (1 元) (
必要性	(公共性、市民ニー、 下水道の加入推 る。 自己評価 住民相互の交流 者等が安心して暮 ための拠点施設の	ズ、緊急性などで 進上、まず公会 をふまえた現状 と連帯を図り、 らせる地域づく	を分析、「 学から 分析 高齢者 りを推	問題点・課題な下水道の接続工	どを記入。)		があ (5 点) (1 元) (
必要性	(公共性、市民ニー、 下水道の加入推 る。 自己評価 住民相互の交流 者等が安心して暮	ズ、緊急性などで 進上、まず公会 をふまえた現状 と連帯を図り、 らせる地域づく	を分析、「 学から 分析 高齢者 りを推	問題点・課題な下水道の接続工	どを記入。)	ていく必要性か 達 成度	があ (5 点) (1 元) (
必要性	(公共性、市民ニー、 下水道の加入推 る。 自己評価 住民相互の交流 者等が安心して暮 ための拠点施設の	ズ、緊急性などで 進上、まず公会 をふまえた現状 と連帯を図り、 らせる地域づく	を分析、「 学から 分析 高齢者 りを推	問題点・課題な下水道の接続工	どを記入。)		があ (5 点) (1 元) (
	(公共性、市民ニー、 下水道の加入推 る。 自己評価 住民相互の交流 者等が安心して暮 ための拠点施設の	ズ、緊急性などで 進上、まず公会 をふまえた現状 と連帯を図り、 らせる地域づく	を分析、「 学から 分析 高齢者 りを推	問題点・課題な下水道の接続工	どを記入。)		があ (5 点) (1 元) (
	(公共性、市民ニー、 下水道の加入推 る。 自己評価 住民相互の交流 者等が安心して暮 ための拠点施設の	ズ、緊急性などで 進上、まず公会 をふまえた現状 と連帯を図り、 らせる地域づく	を分析、「 学から 分析 高齢者 りを推	問題点・課題な下水道の接続工	どを記入。)		があ (5 点) (1 元) (
	(公共性、市民ニー、 下水道の加入推 る。 自己評価 住民相互の交流 者等が安心して暮 ための拠点施設の	ズ、緊急性などで 進上、まず公会 をふまえた現状 と連帯を図り、 らせる地域づく	を分析、「 学から 分析 高齢者 りを推	問題点・課題な下水道の接続で	で記入。)	達成度 ⁵ T 4	(5 点) (4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4
	(公共性、市民ニー、 下水道の加入推 る。 自己評価 住民相互の交流 者等が安心して暮 ための拠点施設の	ズ、緊急性などで 進上、まず公会 をふまえた現状 と連帯を図り、 らせる地域づく	を分析、「 学から 分析 高齢者 りを推	問題点・課題な下水道の接続工	で記入。)	達成度 ⁵ T 4	があ (5 点) (1 元) (
必要性 総合評価	(公共性、市民ニー、 下水道の加入推 る。 自己評価 住民相互の交流 者等が安心して暮 ための拠点施設の	ズ、緊急性などで 進上、まず公会 をふまえた現状 と連帯を図り、 らせる地域づく	を分析、「 学から 分析 高齢者 りを推	問題点・課題な下水道の接続で	で記入。)	達成度 5 T 4 3 + 2 + 1 +	(5 点) (4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4
	(公共性、市民ニー、 下水道の加入推 る。 自己評価 住民相互の交流 者等が安心して暮 ための拠点施設の	ズ、緊急性などで 進上、まず公会 をふまえた現状 と連帯を図り、 らせる地域づく	を分析、「 学から 分析 高齢者 りを推	問題点・課題な下水道の接続で	で記入。)	達成度 5 T 4 3 + 2 + 1 +	(5 点) (4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4
	(公共性、市民ニー、 下水道の加入推 る。 自己評価 住民相互の交流 者等が安心して暮 ための拠点施設の	ズ、緊急性などで 進上、まず公会 をふまえた現状 と連帯を図り、 らせる地域づく	を分析、「 学から 分析 高齢者 りを推	問題点・課題な下水道の接続で	で記入。)	達成度 5 T 4 3 + 2 + 1 +	(5 点) (4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4
	(公共性、市民ニー、 下水道の加入推 る。 自己評価 住民相互の交流 者等が安心して暮 ための拠点施設の	ズ、緊急性などで 進上、まず公会 をふまえた現状 と連帯を図り、 らせる地域づく	を分析、「 学から 分析 高齢者 りを推	問題点・課題な下水道の接続で	で記入。)	達成度 5 T 4 3 + 2 + 1 +	(5 点) (4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4
	(公共性、市民ニー、 下水道の加入推 る。 自己評価 住民相互の交流 者等が安心して暮 ための拠点施設の	ズ、緊急性などで 進上、まず公会 をふまえた現状 と連帯を図り、 らせる地域づく	を分析、「 学から 分析 高齢者 りを推	問題点・課題な下水道の接続で	どを記入。) に事を実施して	達成度 5	(5 点) (4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4
	(公共性、市民ニー、 下水道の加入推 る。 自己評価 住民相互の交流 者等が安心して暮 ための拠点施設の	ズ、緊急性などで 進上、まず公会 をふまえた現状 と連帯を図り、 らせる地域づく	を分析、「 学から 分析 高齢者 りを推	問題点・課題な下水道の接続で	どを記入。) に事を実施して	達成度 5 T 4 3 + 2 + 1 +	(5 点) (4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4
	(公共性、市民ニー、 下水道の加入推 る。 自己評価 住民相互の交流 者等が安心して暮 ための拠点施設の	ズ、緊急性などで 進上、まず公会 をふまえた現状 と連帯を図り、 らせる地域づく	を分析、「 学から 分析 高齢者 りを推	問題点・課題な下水道の接続で	どを記入。) に事を実施して	達成度 5	(5 点) (4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4

V Action & Plan (改善の内容及び次年度以降の計画)

	平成20年度にできる改善・改革	平成21年度以降にできる中期的な改善・改革
	☑ 現状維持 □ 休止·廃止 □ 事業統廃合	☑ 現状維持 ☐ 休止·廃止 ☐ 事業統廃合
今	□ 予算充実 □ 予算削減 □ 手法見直し	□ 予算充実 □ 予算削減 □ 手法見直し
後の	平成17年4月に集会所の補助金交付要綱を 定めたばかりなので、ある一定期間は、この制	同左
の方	度を続ける必要がある。	
向		
性		
性とその		
その		
理		
由		
現		
具状 体維		
的持		
な以		
改外		
善の 方場		
法合		
$\overline{}$		
	効果(アウトカム)面	効果(アウトカム)面
	M/K () 2 10 m	M/K (> 1 / 1 / 1 / 1 / 1 / 1 / 1 / 1 / 1 / 1
改		
善領		
に状		
る維った		
(現状維持以記)		
期待な	コスト面	コスト面
され		
は場合		
!?される効果 の場合)		
果		
	仮に事業を中止、統廃合した場合に予測される影響(プラ	ラス面、マイナス面)
現	仮に事業を中止、もしくは統廃合したとなれ	ば、改築等が必要でも集落だけの財源では事業
中状	実施が困難であり、コミュニティ活動の低下に	繋がる恐れがある。
止維		
・持統の		
脱り飛場		
合合		
の も		
影記響入		